富山外郭環状道路 一般国道8号

豊田新屋立体

事業概要

豊田新屋立体は、地域高規格道路　富山外郭環状道路の一部を構成する国道８号のうち、富山市小西から富山市粟島町間において、交通渋滞の緩和、死傷事故の削減の他、幹線ネットワークの強化を目的に、交差点の立体化を行うものです。

※地域高規格道路とは、高規格幹線道路と一体となって、規格の高い幹線道路ネットワークを形成する道路です。自動車専用道路もしくはこれと同等の高い規格を持ち、概ね60㎞/h以上の走行サービスを提供します。

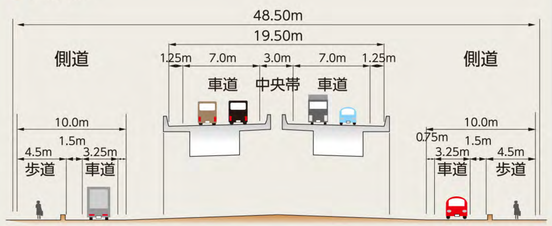
計画諸元・事業経緯

起点・終点	富山県富山市小西～富山県富山市粟島町
延　　長	2.9km
道路の区分	第3種第1級（4車線）
設計速度	80km/h
道路幅員	立体部　19.5m
	1.25+7.0+3.0+7.0+1.25
	側道部　10.0m
	0.75+3.25+1.5+1.5+3.0

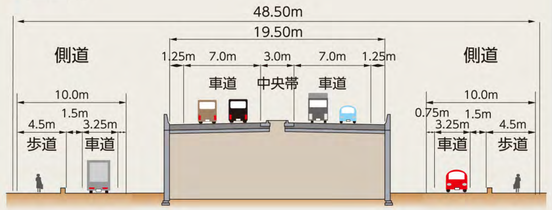
都市計画変更　平成20年度　　事業着手年度　平成21年度

豊田新屋立体区間標準断面図

● 橋梁部



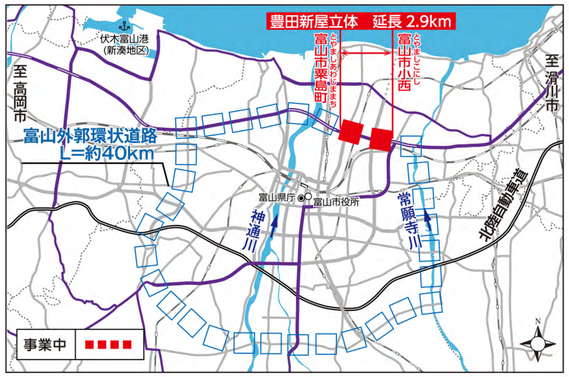
● 土工部



目的

◎幹線ネットワークの充実強化
◎交通渋滞の緩和
◎死傷事故の削減

地域高規格道路 富山外郭環状道路

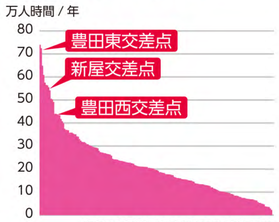


富山都市圏における国道8号の交通状況

国道８号は、富山県の東西を結ぶ主要幹線であり、事業区間は富山市中心部へのアクセス交通が混在し、県内で最も交通量が多い区間です。

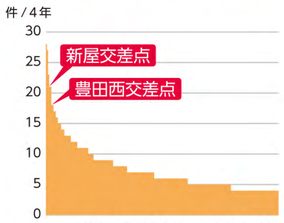
県道・市道との交差点部は、朝夕の交通渋滞が著しく、渋滞に起因すると想定される死傷事故が多く発生しています。

【渋滞が多い交差点】



資料：渋滞損失時間 H28 秋期平日

【死傷事故が多い交差点】



資料：ITARDA データ（H24－27）

豊田東交差点の渋滞状況

新屋交差点の渋滞状況

事業の流れ

調査・計画 → 概略設計 → 都市計画決定 → 測量・地質調査 → 設計協議 → 用地幅杭設置 → 建物調査・用地測量 → 用地交渉 → 用地買収・補償 → 詳細設計 → 工事説明会 → 工事着手 → 完成・開通 → 維持管理

平成31年3月作成

富山外郭環状道路 一般国道8号

豊田新屋立体

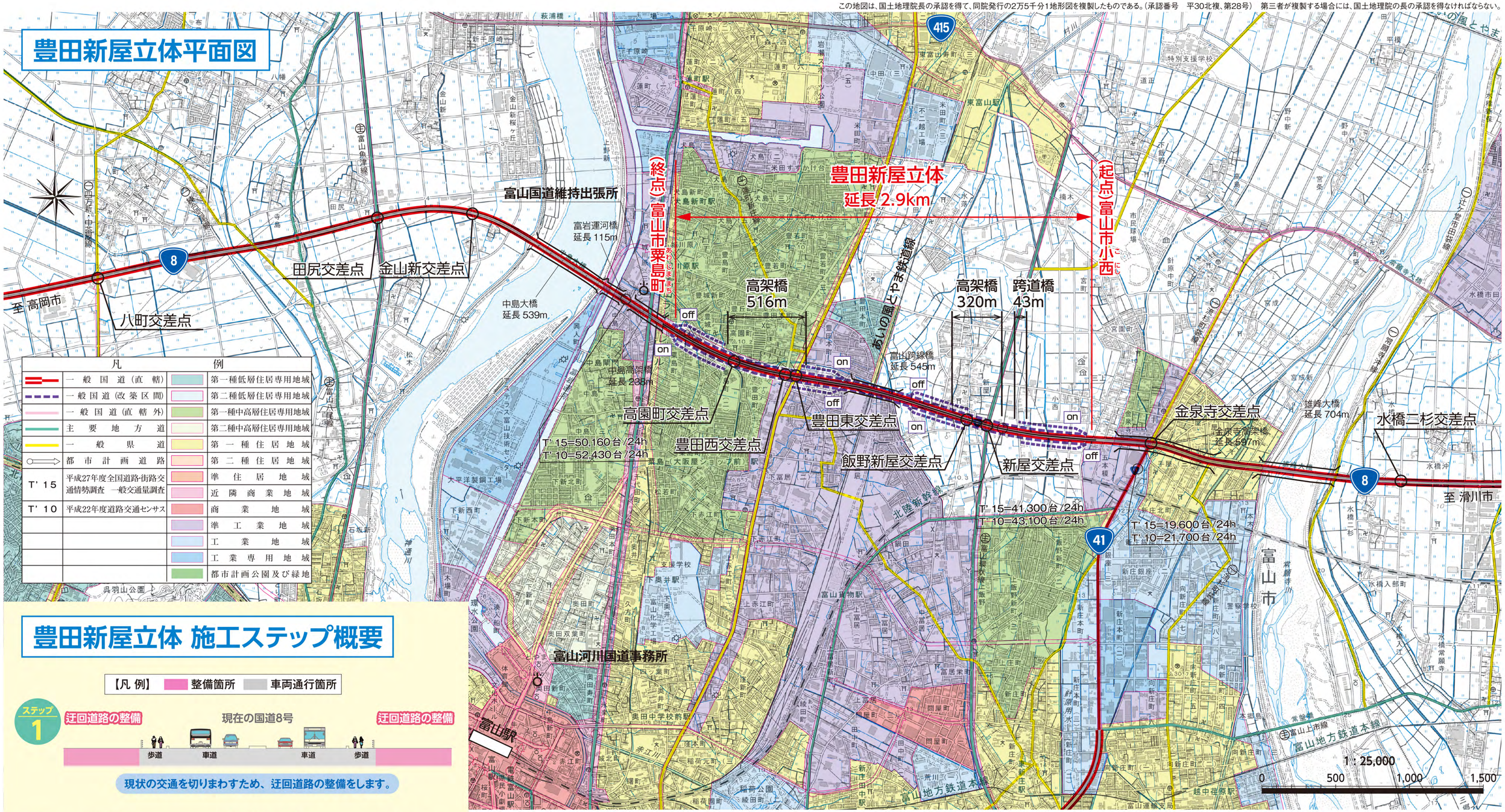
とよ　た　あら　や

富山跨線橋上空から高岡市方面を撮影

国土交通省　北陸地方整備局
富山河川国道事務所
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
TEL:076-443-4701㈹
http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。（承認番号　平30北複、第28号）　第三者が複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

豊田新屋立体平面図



凡例			
	一般国道（直轄）		第一種低層住居専用地域
	一般国道（改築区間）		第二種低層住居専用地域
	一般国道（直轄外）		第一種中高層住居専用地域
	主要地方道		第二種中高層住居専用地域
	一般県道		第一種住居地域
	都市計画道路		第二種住居地域
T' 15	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査　一般交通量調査		準住居地域
			近隣商業地域
T' 10	平成22年度道路交通センサス		商業地域
			準工業地域
			工業地域
			工業専用地域
			都市計画公園及び緑地

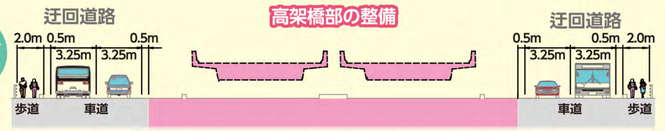
豊田新屋立体 施工ステップ概要

【凡 例】　整備箇所　車両通行箇所

ステップ1　迂回道路の整備　現在の国道8号　迂回道路の整備

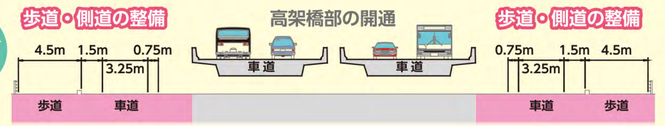
現状の交通を切りまわすため、迂回道路の整備をします。

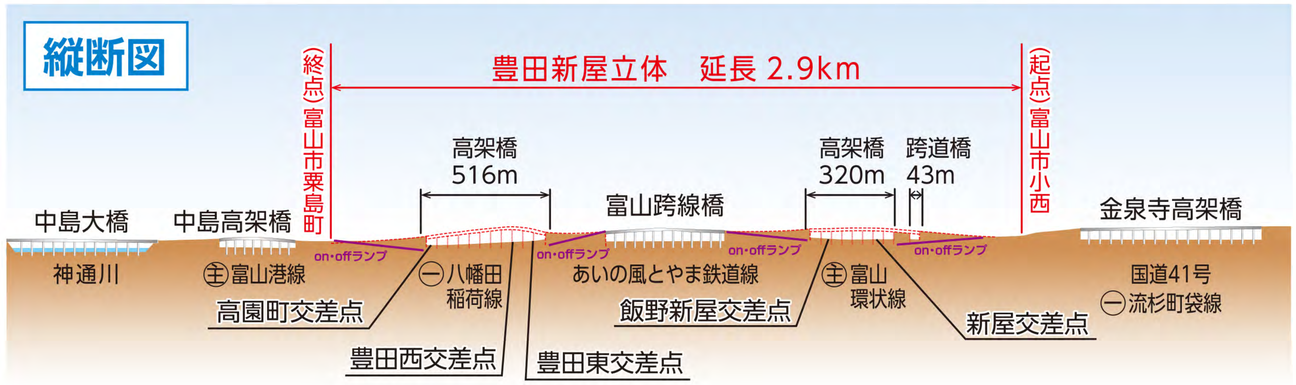
ステップ2　迂回道路　高架橋部の整備　迂回道路



迂回道路へ交通を切りまわし、高架橋を整備します。

ステップ3　歩道・側道の整備　高架橋部の開通　歩道・側道の整備



完成した高架橋へ交通を切りまわし、歩道および側道の整備をします。

縦断図